

第 1 部

地域資料に関する調査研究

2009年度の調査研究報告は「地域資料に関する調査研究」をテーマとする、2年間の調査研究期間の1年目の報告である。社会教育・生涯学習研究会と共同して行った今年度は、地域資料を概念として明確にするとともに、地域活動の拠点として位置づけられる市民センターが所蔵する資料について調査を行った。

次年度は市民センターの調査を継続・まとめるとともに図書館や地域活動の拠点施設についても調査を広げる予定である。

地域資料に関するアンケート結果

石 塚 優

地域資料という特定が難しいテーマに関するアンケートを市民センターの館長に回答を求め、得られた結果を以下では整理して示している。

地域資料に関しては以下に例示したが、これらに限定される訳ではない。詳細な説明は上記の「地域資料の調査研究～地域づくりのための資料をどう残し活用するか」に記されているので参照されたい。

1. 地域資料とは

地域の生活や活動の記録、地域の課題解決のための諸資料

- ・郷土の歴史を伝える本や写真、
- ・市民センターが定期的に発行する広報誌
- ・小中学校幼稚園のPTAやまちづくり協議会、社会福祉協議会など、さまざまな団体が定期不定期に出している印刷物
- ・郷土の歴史や民俗に関する資料
- ・紙印刷資料だけではない…

ビデオや、CD・DVDなどのデジタル資料。石碑や建造物など、かたちはさまざま。印刷物の形をしていないものにも地域資料として地域の文化や人々の生活、活動の記録が残っている。一番の「地域資料」は「人」そのもの。

家庭教育学級の郷土史講座で「むかし、小学校を建てるとき、地元の有志が土地を提供し、地域みんなが、子どもと一緒に土を運ぶなど普請に尽力した」という話があった。それは小学校の由来に基づいた地域への愛着を生む話であった。このように、人々の思いや願いを記録し、伝えるのが地域資料である。それは、地域に対する愛着を深め、地域づくりの基礎となり得る。

2. 地域資料の具体例

以下では地域資料を(1)～(10)について具体例を示した。これのみが地域資料ではないが、その一端が分かる。

- (1) 地域の生活や活動の記録～人々の思いや願いを伝えるもの
- (2) 「地域の活動」は、チラシや報告書に記録されている
- (3) 役所や市民センターといった、公が作るものだけとは限らない。
- (4) 文化祭、親睦会のパンフレット
- (5) 「貫校区文化祭パンフレット」
- (6) 周年記念誌
- (7) 市民センターの中には… ～曾根市民センターの場合
- (8) 市民センターの掲示物
- (9) 市民センターのホームページは地域資料の収集発信になる

(10) 情報の整理と提供

(1) 地域の生活や活動の記録～人々の思いや願いを伝えるもの



かつて長行小学校の正面入り口の横に置かれていた。学校を建てたいきさつに触れたもの。

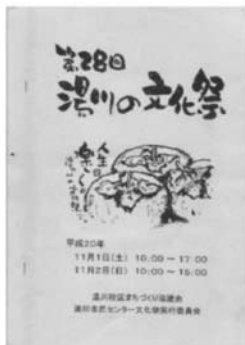
「土に親しむものが土を買った。そして家まで建てた。正しく働き互いに助けて土に生き、何十年かの後皆が揃って斯うありがたい。

二人の教師八十の子等、地主、基礎を作った過去の先生と卒業生とに感謝を捧ぐる。

昭和八年十一月十日 校長誌

小学校の沿革は、学校のホームページに「明治4年、私塾に始まる」ことが簡単に記されている。

(2) 「地域の活動」は、チラシや報告書に記録されている



「地域の活動」とは、住民の自発的なコミュニティ活動であり、チラシや掲示物で広報する。広報物は活動の記録を残すものとしての「地域資料」。

当日の案内や、活動終了後の報告書としても記録が残る。

(3) 役所や市民センターといった、公が作るものだけとは限らない。



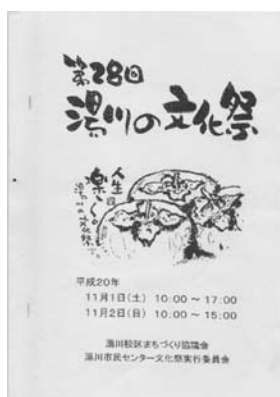
「ふれあい昼食交流会」10年のあゆみ、北九州市食生活改善推進協議会、平成14年1,000円

小倉南区の曾根公民館で昭和54年、年2回地区老人会と共催事業として開始していることが分かる。それ以外の区は平成5年からモデル事業を始めている。

写真入りでふれあい活動を記録として残しており、献立や実施要項、新聞記事や地図も載せている。

現在の食育推進活動が、市民の自発的な地域活動から始まっていることが分かる。

(4) 文化祭、親睦会のパンフレット



日時と内容を記載している。プログラムだけの簡単なものでも、10年後20年後を考えたとき、記録としての価値が分かる。

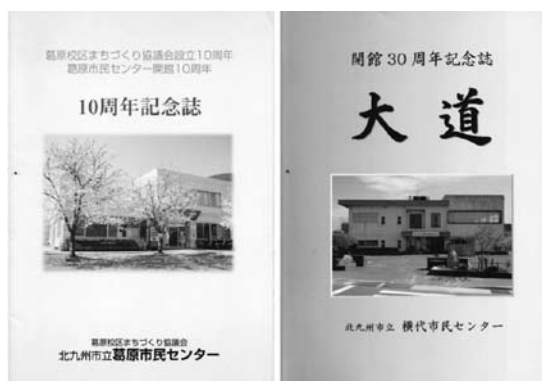
(5) 「貫校区文化祭パンフレット」



写真や文章が入っていて、実行委員や参加者の名前も記載されている。

参加した子どもたちが親世代になって地域を支えるようになったときにも、過去の活動の内容が具体的に伝わる。

(6) 周年記念誌



アンケート調査を開始してすぐ、センターから連絡をいただいた、図書館で借りて読んだ。



『北九州市立一枝市民センター50th 0年記念誌』
作成：開館50周年記念事業実行委員会、

一枝まちづくり協議会、平成20年11月1日発行
会長ほか挨拶18名、地域交流・地域スポーツ・セ
ンター講座・地域活動・クラブ紹介・地域で元気に
活躍する人たち・館報・市民センター沿革など盛沢
山な内容。

「一枝かいわい今昔物語」として昭和30年ごろと
現在との一枝近郊図を並べていたが、50年前の製鐵
住宅と採炭線の向こう一枝街道は田んぼばかりで変
化が著しい。

アンケートの調査票を郵送してすぐ、一枝の館長
からいただいた電話で「記念誌を作成し、国立国会
図書館や市立図書館、大学図書館に寄贈した」との
お話を伺った。「以前に国立国会図書館を訪問した

際に、このような地域発信の情報が乏しかったため、周年記念誌作成を機に、市内の図書館、大
学および国立国会図書館に寄贈した」という内容だった。

確かに、北九州市立図書館や文書館には、市民センターが発行した報告書や記念誌は数えるほ
どしか置かれていない。市民センターを対象にした資料収集も、一定の基準の下ではなされてい
ない。

記念誌など作成した資料については、地域活動の記録として保存、提供することを考えていく
べきである。

(7) 市民センターの中には… ～曾根市民センターの場合



1階カウンター前のフロアに大きな書棚があって、ひまわ
り文庫が置かれている。文庫以外に、地域からの寄贈本など
もある。ひまわり文庫は市立図書館の貸し出し文庫で、各区
の地区館（小倉南区は中央図書館）が管轄、配本する。文芸
書が中心だが、基本方針は地域の必要に応じて図書を提供す
るところにある。

地域に関連する本や情報を入手するための窓口として活用
することも可能だ。

本棚以外にも、様々な情報をそろえて提供している。



- ・曾根の神幸行事（開作神事）と郷土の歴史
- ・『子育て情報ナビ』 by みつばちクラブ
『北九州市内病院・診療所一覧 かかりつけ医はおもちですか?』

(8) 市民センターの掲示物

そね学童保育クラブ



「健康づくりニュース」



幼稚園などのパネル



賞状 トロフィーなど



(9) 市民センターのホームページは地域資料の収集発信になる



「～地域のふれ合い・交流の場～」

自治公民館は、地域の住民や市民センターと連携を密にし、生涯学習活動や健康・福祉の増進を目指し、誰もが住みやすいまちづくりに取り組みながら、地域社会の発展に努めるコミュニティーセンターです。」

「故郷両谷」

私たちの先人が受け継ぎ残してくれた郷土の財産を大切にし、次代に継いでいきたいものです…」

三岳梅林や春吉の眼鏡橋などを紹介。

地域情報はホームページを通して発信される場合も多い。その記録をどう残すかは、今後の課題。

両谷市民センターでは、自治（類似）公民館の情報も記載している。

(10) 情報の整理と提供

市民センターは、それぞれ「市民センターだより」を定期的に刊行している。

A 4 一枚の紙面でも、区や全市をまとめれば、大量の資料となる。ミクロとマクロの視点から、地域を捉えることで、活用の仕方や有用性が高まると思われる。

（2 は山田執筆に石塚加筆整理）

3. 調査結果

調査の方法は「地域資料の調査研究～地域づくりのための資料をどう残し活用するか」にも記述されており重複するが、以下のとおりである。

- ① 調査対象：北九州市立市民センター129館（全館）。
- ② 調査方法：郵送により調査票を配布し、回答後に郵送により返送する郵送法により実施した。
- ③ 調査期間
2009年10月から11月の調査票配布から回収するまでの3週間。その間に督促を実施。

以下での結果には、調査票のⅠ～Ⅲまでの基本事項に関する質問の一部を省略するとともに回答結果をそのまま掲載している。基本事項に関しては、所在する区、センター名、設置年を質問しているが、これらに関しては後にまとめて一覧表として掲載した。また、この結果に続いて、集計表を掲載した。これには回答の百分率も示した。

以下、調査票の質問文と個々の質問ごとの回答結果を示す。結果を示した図1～10の数値は市民センターの館数である。百分率などの構成比ではなく、全数調査でもあり、対象数も少ないことから、館数で示している。

また、図1～9までは複数回答である。そのため、百分率で示した数値ではないので、100%を超えるということはないが、合計は100%に当たる129を超えている。

また、回答には回答理由が記されている場合もあり、これを整理して「回答についてのコメント」として記載した。また、「その他」を選択した場合の具体的内容を記述している場合は、それを整理して記載した。

また、回答の文言を一部省略している。調査票を参照されたい。

質問Ⅳ 貴館でお持ちの「地域資料」を教えてください。

1. 市民センター（市民福祉センター・公民館）が発行・作成したもの

この市民センターが発行・作成した資料については問のなかで最も多くの市民センターが持っているとは回答した。「館報」は全センター、「文化祭冊子」や「行事案内チラシ」は100近いセンターが持っているとは回答しているが、どの位の期間の館報やチラシ、案内が保存されているかは不明であり、聞き取り調査で訪ねる必要がある。

図1 市民センターが発行・作成した資料

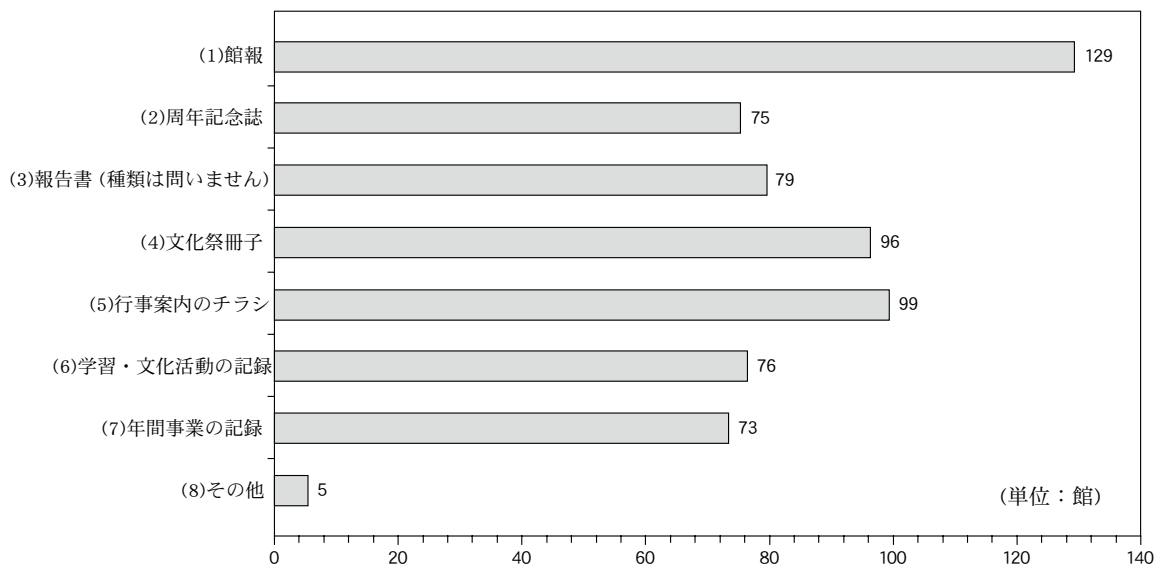


図1 回答についてのコメント	度数
なし	124
2、10周年	1
2 50周年記念誌を北九州市立大学図書館に昨年寄贈しましたので閲覧してください	1
4 プログラム、5 すべてではない、一部 館報掲載	各1
5 講座開設の案内	1
合計	129

図1 のその他の内容	度数
非該当	123
2 年間	1
センター講座関連資料	1
各種事業写真	1
健康づくり事業かわら版、健康づくり事業の記録	2
通学合宿	1

2. 地域団体が発行・作成したお知らせ、報告書、活動の記録などの資料

最も持っている地域団体のお知らせや報告書、記録は「まちづくり協議会」が作成した資料である。

続いて「社会福祉協議会」作成の資料であるが、この他の地域団体作成資料をもっているセンターは半数以下である。

図2 地域団体が発行・作成したお知らせ、報告書、活動の記録など

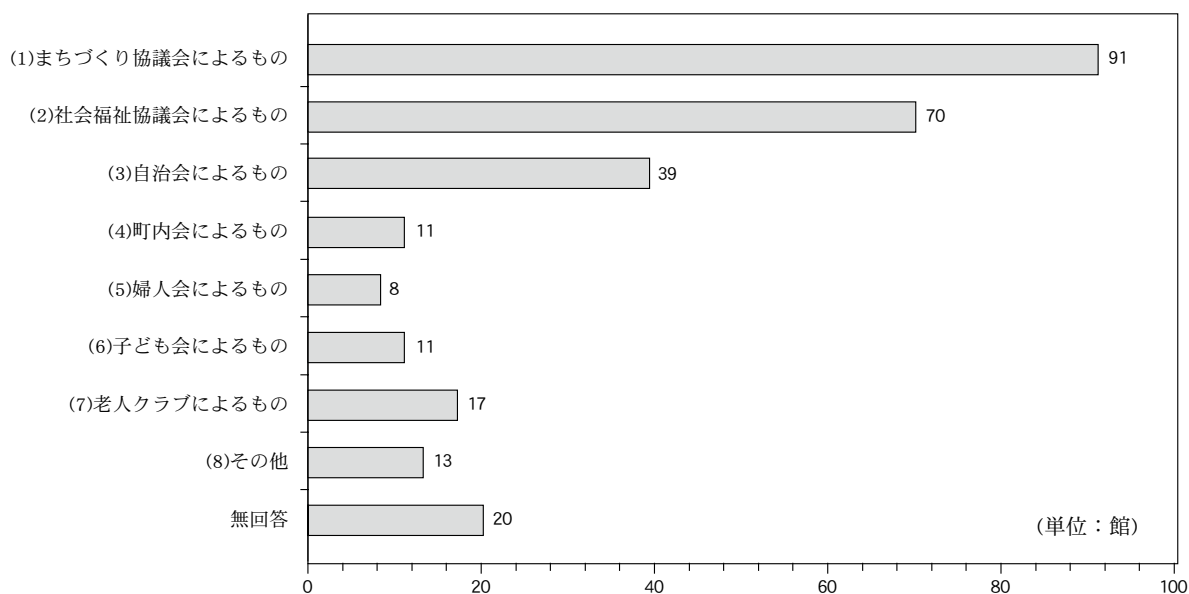


図2 回答についてのコメント	度数
なし	123
1、2、3 校区だより、1、2 総会資料	各1
1 (1) (2) (3) 三者で1 枚分	1
2 はじめたばかりです	1
3 総会資料、3 類似公民館	1
5 総会資料	1

図2 のその他の内容	度数
非該当	115
1 年間	1
クラブ協議会、『きずな』（文化、研修部部会、年3 回発行）	1
センター	1
育生会	1
学校	2
館独自のもの	1
健康づくり事業	1
小・中学校だより	1
青少年育成会・体育委員会	1
地域住民会議ニュース 青少年育成ニュース	1
地域団体各種のもの	1
中学校区地域会議	1
母親クラブ	1

3. 各種関係団体・個人が発行・作成したお知らせ、報告書などの資料

センターがもっている各種関係団体が作成・発行した資料は、「家庭教育学級」が作成・発行した資料が最も多い。この他の資料をもっているのは半数以下である。

図3 各種関係団体・個人が発行・作成したお知らせ、報告書など

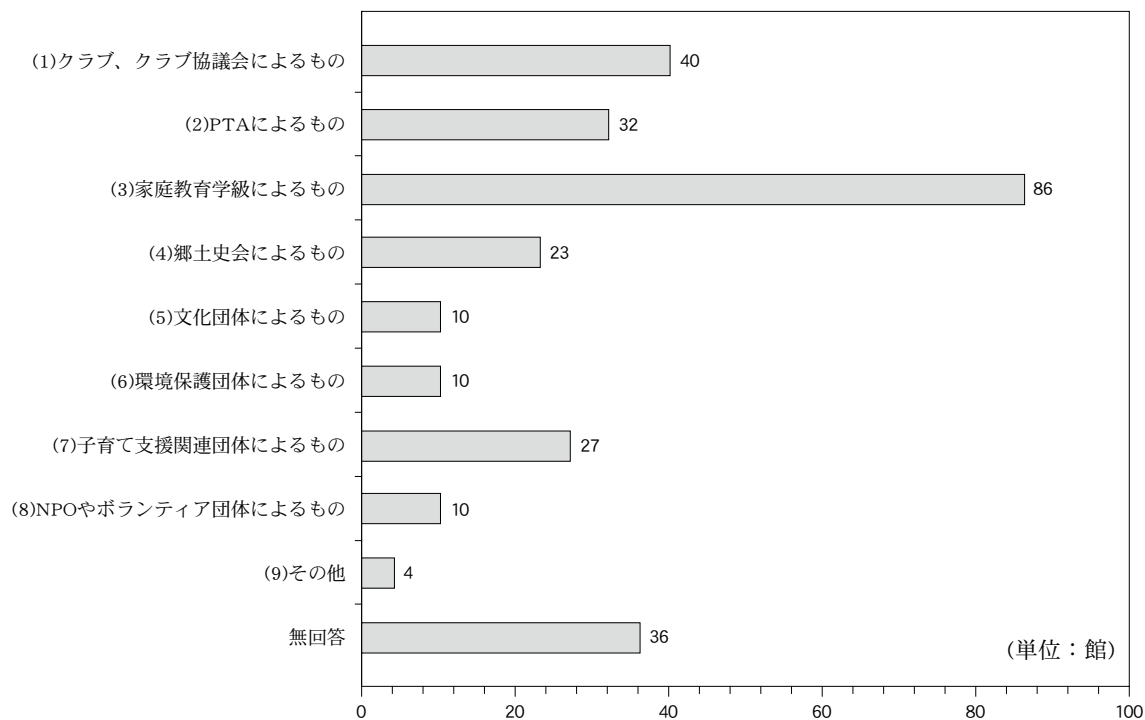


図3 回答についてのコメント	度数
なし	128
2 枝光小・枝光台中、6 NPOボランティア団体によるもの、 7 NPOボランティア団体によるもの	1

図3 のその他の内容	度数
非該当	125
育成会	1
館独自のもの	1
個人によるもの	1
北九州市史	1

4. 関係機関で作成・発行した資料

関係機関の資料は幼・小・中学校作成・発行が多く、これに保育所を加え、保育や学校関係の資料を持っているセンターが多い。この作成・発行がPTAなのか、学校なのかは不明である。関係機関の意味が分からなかったためか「無回答」が多い。

図4 関係機関で発行・作成した資料

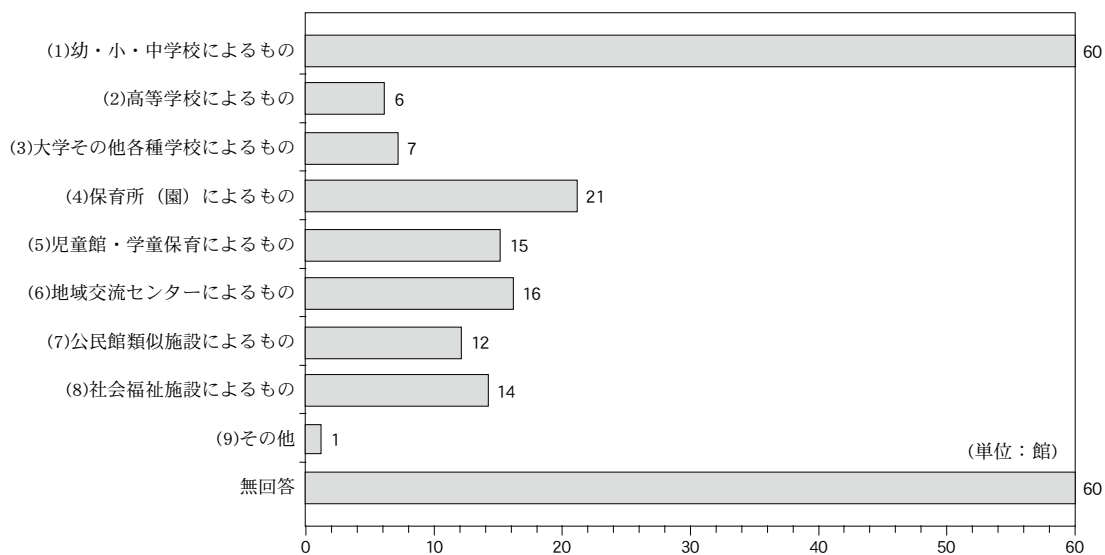


図4 回答についてのコメント	度数
なし	128
1 中学校によるもの	1

図4 のその他の内容	度数
	128
市、区関係	1

5. その他の関係団体が発行・作成した資料

センターがもっている、その他の関係団体が発行・作成した資料で多かったのは「交番が発行・作成」した資料である。次いで「病院」「文化・観光施設」であり、企業などはほとんどない。「無回答」が多かったが聞き取り調査をすれば「文化施設」の資料がもっと出てきそうである。

図5 その他関係団体が発行・作成した資料

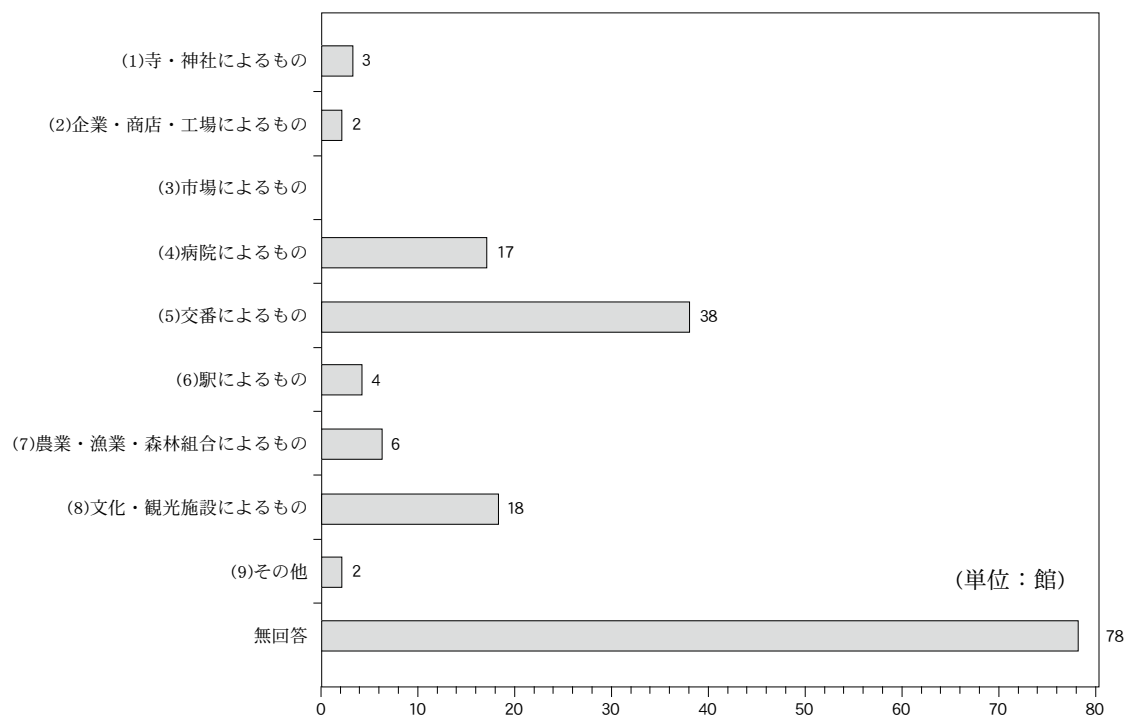


図5のその他の内容	度数
	125
NPO法人によるもの	1
センター建設時の遺跡写真パネル	1
安全安心パトロール	1
消防・消防団	1

6. 古文書、古地図などの歴史的資料

いかにも郷土の資料として保存されていそうな資料であるが、「無回答」は「ない」という意味であろうから、このような資料はほとんど保存されていないという結果である。

図6 古文書、古地図などの歴史的資料

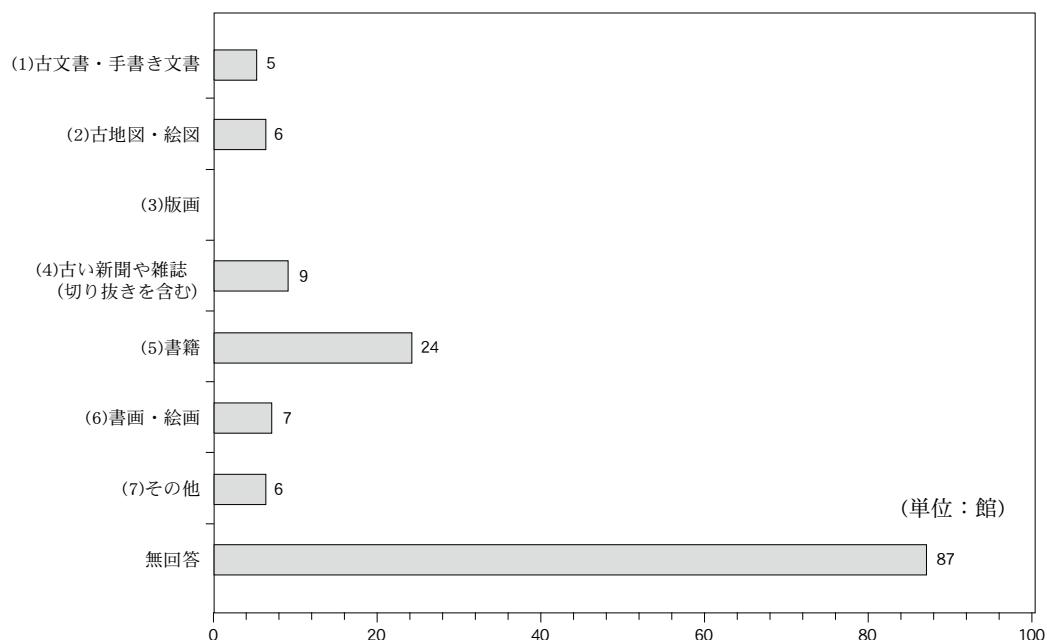


図6 回答についてのコメント		度数
		128
1	手書き文書	1

図6 のその他の内容		度数
		122
	その他記述なし	1
	遺跡の発掘物、旧国鉄香月駅で使用した備品、炭鉱で使用した物	1
	郷土誌	1
	原色日本の美術・北九州市・国際大百科事典	1
	個人所有の物あり	1
	写真	1
	筑前国黒崎史・八幡市舊蹟めぐり	1

7. 音響・映像・画像などの資料

音響・映像などの資料は「写真」が最も多く保持されている。続いて「CD・DVD」「ビデオテープ」であり、8ミリやカセット、書画・絵画をもっているセンターは皆無に近い。

図7 音響・映像・画像などの資料

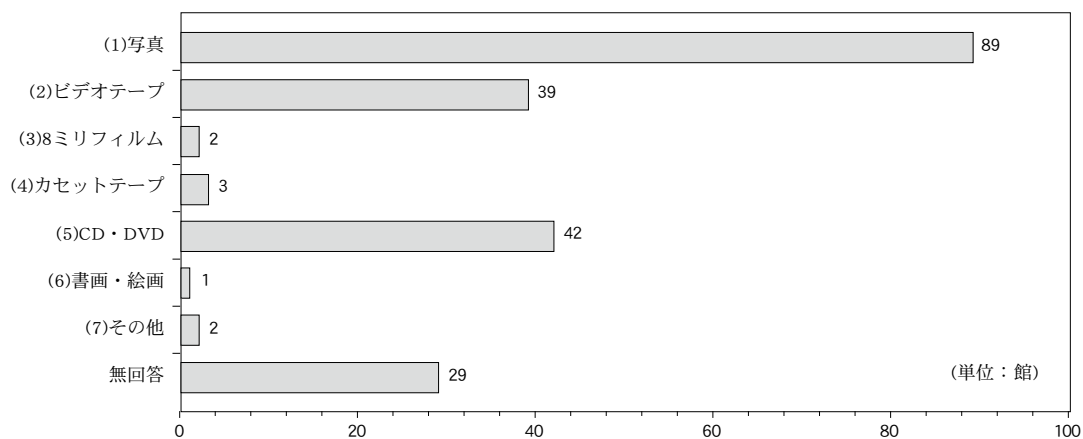


図7回答についてのコメント	度数
	128
5 第一回沢見まつり	1

図7のその他の内容	度数
	127
HDDに記載	1
パソコン (パワーポイント)	1

8. 記念碑や作品などの資料

古文書、古地図などの歴史的資料と同様にもっているセンターが少ない資料である。もっている資料で10館を超えているのは「手工芸品」「パネル」「石碑」だけである。この資料も「無回答」が多い。

図8 記念碑や作品などの資料

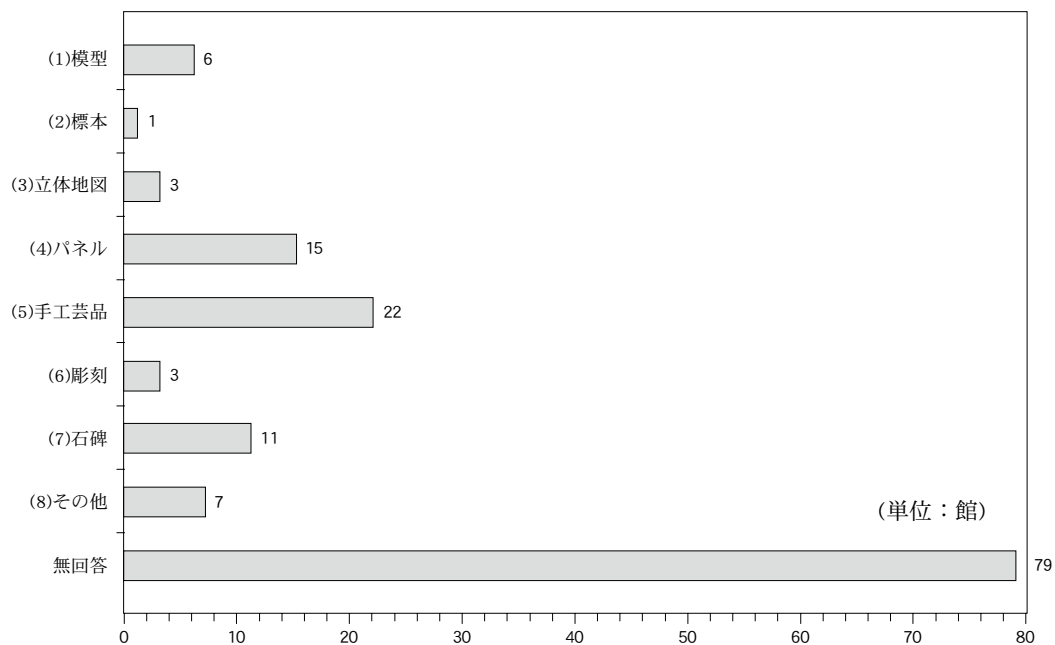


図8 回答についてのコメント		度数
		127
4	近郊図、手書き	1
7	10周年20周年30周年	1

9. 資料等の利用方法

資料の利用方法は、「地域団体の周年行事、沿革史・報告書の作成」「市民センターの掲示物」「市民センターの行事」に利用するが多い。また「役所などからの問い合わせに利用」する場合もある。多くはないが、「小・中学生の調べ学習」「個人の学習・調査」に提供しているセンターもある。

図9 資料等の利用方法

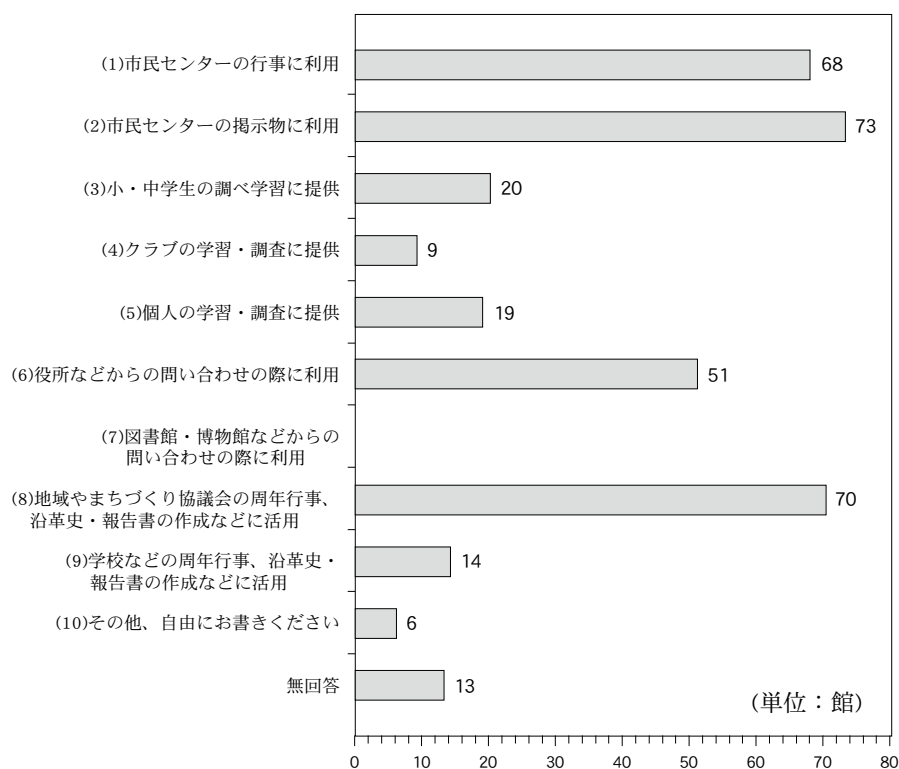


図9 回答についてのコメント	度数
8 必要に応じて	1

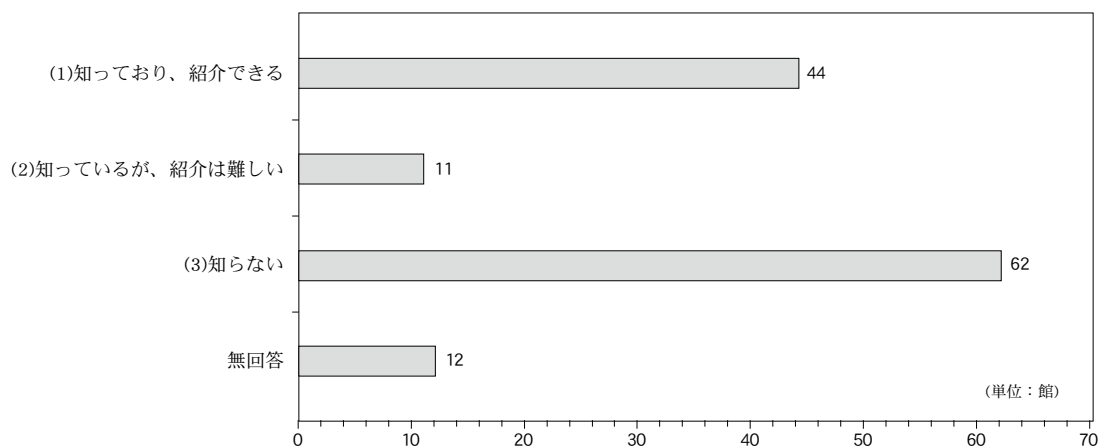
図9 のその他の内容	度数
非該当	120
印刷した物はファイルに閉じますが、その他記録としてPC、メモリーフラッシュ、フロッピー等でバックアップを実施しております。	1
校区歴史マップ	1
行政等からの感謝状等の賞状	1
市民センター建設の際中世の遺跡が出土したものを写真に撮り説明とともにパネルの型でセンターの壁にかけております。	1
市民センター創立10周年記念壁画パネル	1
小学生の地域探検の時の資料	1
整理保存したいところですが、日常業務に追われ、その時間がないのが現状です。当センターの職員数では限りがあり、ボランティア等の適任者があればと思うところです。	1
他の団体が発行したものは、一時的に展示、閲覧したあと、廃棄している	1
道原楽・合馬神楽	1
センター講座の企画・実施にあたっての参考資料として利用。他には現在のところほとんど利用されていない。	1

まち協・自治連合・社協・婦人会・老人会等の発行物多数、記録やその期間のイベント実施に当たり、参考資料の基本として流用しています。	1
黒崎市民センターでは地域資料という観点からの保存は一切行っていない。	1
今まで書庫に入れたままほとんどが利用されていなかったため、平成20年にロビーの一角に「北九州の魅力発見コーナー」を設置し、「北九州市史」等と共に自由閲覧できるようにした。	1
次年度の参考資料として利用のため、常に見られる様な所に保管している。	1
当館は、まだ若く（8年目）、地域も住宅地（戦後の）で、地域の歴史的な財産は、ほとんどない。	1
特に利用はない	1
報道機関からの照会などに呈示している	1

10. 資料の所在や人物の紹介ができる

センターにはないが、資料がどこにあるか、あるいは郷土史などに詳しい人物を紹介できると回答したのは44センターである。具体的に紹介先を記入してくれたセンターもある。「資料の所在や人物を知っているか、紹介は難しい」と回答したのは11センターである。保持してなくても資料の所在を知っているのは合わせて55センターである。

図10 資料の所在や人物の紹介



11. 「地域資料の調査」 アンケート 回答 自由記述

質問Ⅳ 貴館でお持ちの「地域資料」を教えてください。

9 その他、何かありましたらご記入ください。

- ・小学生の地域探検の時の資料
- ・市民センター建設の際中世の遺跡から出土したものを写真に撮り、説明とともにパネルに。
- ・絵画
- ・国境石控石
- ・書籍
- ・校区歴史マップ
- ・道原楽・合馬神楽
- ・地域カルタ、藤松音頭
- ・ウォーキングコースガイド
- ・拓本
- ・印刷した物はファイルに閉じ、その他記録としてPC、メモリーフラッシュ、フロッピー等でバックアップを実施

Ⅵ 貴館で保存の資料等はどのようにご利用になっていますか。

その利用方法等をお知らせください。

- ・次年度の参考資料として利用のため、常に見られる様な所に保管。
- ・今まで書庫に入れたままほとんどが利用されていなかったため平成20年にロビーの一角に「北九州の魅力発見コーナー」を設置し、「北九州市史」等と共に自由閲覧できるようにした。
- ・報道機関からの照会などに呈示している。
- ・まち協・自治連合・社協・婦人会・老人会等の発行物多数、記録やその期間のイベント実施に当たり、参考資料の基本として流用。

Ⅶ このような地域の資料を、今後どのように活用・保存すればよいと思いますか。

- ・昨年、地域の歴史を掘り起こす事業を開催。その時に集めた資料と、資料をまとめた冊子を大切に保存。地域の歴史について学ぶことがあった時、役立ててほしい。
- ・長崎街道を歩く事により、文化財にふれ、この町の歴史をよく学ぶことが出来るので、そのような活動に参加するのが良い。
- ・役所などが集め保存。
- ・公民館期のような文化施設としての機能をとどめている市民センターは、数少なくなってきた。所管が変わり役割や目的が多様化し、専門性を失い、役所の窓口と化し、まちづくり協議会や部会として統合された旧地域団体の事務局業務を担うようになった。今日の施設に、生活文化や活動の歴史を物語るもの、また保存するスペース等は殆どないのが現状。当地域においては開所の目的が「集会所」であったことから、現存するものは地域や施設で取り組んだ事業等の断片的な記録写真くらいだ。資料の活用・保存といったことが目的でなかった施設の成り立ちや歴史、地域性に関係しているのではと思われる。

- ・各区の生涯学習センターを、生活文化、歴史資料の保存場所として活用すること。
- ・地域内には小中学校もないため、学校関係の資料が少ない。また、八幡製鉄所とともに急発展した地域のため、歴史的資料も少ない。
- ・全ての資料を各館個別に保存するのではなく、「古文書・資料等保存会館」を建設し、必要に応じて閲覧できるよう整理する。個別に保存しておれば紛失、劣化の恐れもある。
- ・文化祭や地域の祭りで展示し、地域活動に生かす。必要なもの、残していくものの指針をはっきりさせた方がよい。
- ・旧公民館時代から数えて今年度で50周年を迎えた。この節目の年に記念誌の作成については、非常に苦労した。必要と思われる資料が少なかったため。
- ・市民センターは、保存のスペースが限られているので、資料の重要度が示されなければ、古いものから処分されるのが現状。これから重要な資料を確定する基準を規定すると共に保存方法なども考えなければならない。
- ・現在センター内に保存してある資料は、種類も内容も異なる。それぞれ個々バラバラに、関係書類と共に保管しているのが現状。市民センター内に地域資料室を設け、気軽に閲覧できるシステム（部屋等の設備を含む）があればと思う。当館では、年1回の文化祭で郷土コーナーを備え保有する資料を展示してゆくつもりだが、日常的に見ることのできる環境が整っていればまた違った面での効果が期待できるのではと思う。
- ・センターという限られた場所での資料の保存はきわめて難しい。元々保存室のような部屋がないと、また専門的に携わる人員の配置がないと、充実した内容は望めない。
- ・開館10周年の記念事業の一環で地域のガイドマップを作成。名所・旧跡を地図に落としこんでいく作業の中で、郷土史など資料の重要性を実感した。記念誌作成にも、センターのあゆみ等、活動の実践等、整理された保存状態であると作業がスムーズで、より中身のある内容のものが提供できる。今後の引継ぎの中でも残しやすいシステムを構築したい。
- ・地域に住む子どもたちに地域の宝として紹介するため、放課後児童クラブの部屋や小学校の展示スペースに写真のパネル展示をする。小学生の総合学習の時間に生き証人等に語り継いでほしい。
- ・地域資料の意味が分らない。歴史的資料という意味であれば、当市民センターは皆無に近い。地域の歴史に焦点をあてた活動、業務は行っていない。
- ・広く地域の方に知らせ、地域行事に活用することで、一過性のものではなく、継続して伝えていけるようにしたい。地域の財産としてHPや広報紙に載せる。
- ・30周年記念誌、40周年記念誌の存在は確認、市民センター館長として地域を知るために読んで、まちづくりの方々と話をし、市民サミットで発表するためにパワーポイントにおさめている。地域の方への聞き取り調査等でまとめている。市民センターにも歴史を一目で辿り、次の世代へ伝えていく写真や映像保存の必要性は実感している。公民館時代この40年の歴史は写真がきちんと整理され、地域行事の取り組み等は見える。小学校にはあると聞いている。
- ・写真はかなりあるが、きちんと文章を記録したものは少ない。後日使用することがあまりないからだと思う。
- ・開館10年を経て、これまで運営に携わった人がいなくなるとの観点から周年誌を作った。これから作成する資料も次の10年のためを考慮して、編集・保存したいと思う。

- ・毎年増えていく紙資料を保存していくのはとても大変だ。
- ・周年事業の際の記念誌作成等に有効活用できるよう整理保存が必要である。生涯学習事業関連の文書等の保存が中心であり、地域の資料がセンターに集まる環境に乏しく、改善が必要である。植木、図書等の贈与はあるものの、歴史的資料等貴重なものをもつ地域住民の情報収集も欠かせない。
- ・パソコンに取り込んでデータとして保存している。
- ・地域の貴重な資料ということでコピー等ができるのならばコーナーを設置したい。
- ・現在これと言った地域資料はなく、地域におられて勉強中の方に機会がある度、講演していただいている。地域の歴史は子ども達にとっても宝物のようなものであるのできちんとした物をつくりあげれば市民センターで、いつでも閲覧できるようになる。それは今後のコミュニティ活動の役に立つと思う。
- ・地域の資料を別途保存し、活用できれば更に充実した活動が望めるが現実はできていない。資料を整理してすぐ活用できるようにしなければとは思っている。
- ・北九州市立大学の図書館の中に地域資料として保存し、地域研究の資としてほしい。当市民センターの開館50周年記念誌は大学及び国立国会図書館等に送付している。
- ・地域には多くの資料が存在すると思われるが、市民センターとのつながりが薄く、把握していない（把握できない）のが実情である。
- ・歴史的資料は、従来どおりガラスケースで保存。・文書等はキャビネットに保存（年度別）
- ・子ども達の地域学習の教材に役立てたい。学校との連携が必要だが、資料を活用して地域への愛着感を育てたい。
- ・地域住民への情報提供や学習活動等に活用し、住民相互の交流や理解を深め、地域のまとまり、まちづくりの推進に役立てたい。
- ・地域やそこに暮らす住民の歴史は毎日の生活の中で形成されていると考えているので、まちづくり活動の中で、記録や写真をできる限り保存して、住民の生き生きとした表情や活動を次世代に伝えられるよう、データベース化して残し、折に触れて住民に公開できるようにできればとの思いがある。
- ・資料一覧を作成し、追加があれば随時記入・保存していく。一覧は地域の人が自由に閲覧できる所にし、資料の閲覧（貸出）については対応を考えてゆく。保存についても分類したうえで整理し活用しやすいようにする。
- ・子ども達には古里となる、今住んでいるまちの歴史をもっと知ってほしい。大きく変化した。
- ・地域を考える場合、過去の歴史や経緯を理解し現状を把握することは大切なことである。そのため、地域資料の保存は必要であり、いつでも見たい資料が検索できる仕組みがあれば便利である。
- ・児童・生徒の学習に活用する。地域住民が地域理解を深めるための研修に使用する。
- ・地域の資料として、コーナーを設け保存する。また、全市的な集約施設の準備をする。
- ・地域は、昨今の事情で毎年少しずつ開発されているが、国道より一步入ると山や田畑、川などがあり、夏には蛍が飛び交う所。地名も鎌倉時代の文書にある。このような歴史ある地域なので、今ある資料も大切に取り扱いしている。また、個人的に資料を貸してほしいという方には貸し出しもしている。

- ・市民センター・区役所出張所・図書館等に掲示またはコーナーを設け、市民の目にふれる機会を多くする。地域資料公開キャンペーンを実施すると、地域住民も関心を持つようになるのではないかと思う。
- ・市民センター各々で保存するには、管理責任者が任期毎に変わり保管場所も定まっていないため散逸しやすい。監督部署で保管する方法はないのだろうか。
- ・以前フィルムでとった写真などを一部処分してしまい必要になった時困った経緯がある。何かの形で残しておくべき。当市民センターは今年「30年のあゆみ」と題して地域の方から古い写真を募集し、写真展を行なう。どんな写真が集まるのか、楽しみだ。
- ・年表形式で年間事業（センターと地域の活動、行事）を一つにまとめて記録して保存する。
- ・小学校区内に資料館がある。
- ・地域資料等は図書館（資料館）等に一括して保存後生に伝えることが必要。市民センターには保存場所がなく館長の任期も短く伝達することができない。
- ・このたび、古い資料はデジタルカメラで撮影しDVDに保存した。昭和42年ごろの写真で、かなりボロボロだったが、この先、何年後でも、読むことは可能だ。
- ・保存会を立ち上げ、資料館の設立が望ましいが、資金面や場所等の問題で困難が予想される。当面はセンター空室等の利用が無難と思われる。
- ・歴史の浅いセンターで資料の少なさ、今後意識的に資料収集する必要性を感じている。資料台帳を作成し保存する、市民センターの一角に資料コーナーを設置して必要に応じて利用して頂く等の工夫をしたい。
- ・地域内にある女流俳人橋本多佳子さん縁の櫛山荘跡地公園に来館されたいという市内の方々が、時々センターに来館される。そのため、今年度からセンター内に、少しではあるが資料を展示して、地域の人を含め、市民の方々に公開している。
- ・霧岳村文化歴史研究会のメンバーと協議・検討中。
- ・地域の古い写真等は、写真展を開催し、地域の方にご覧いただく機会にしている。保存について写真はご本人の許可をいただき複写させていただいて保存している。資料等については周年記念誌などに活用できればと考えている。
- ・地域住民の方に生まれ育った自分の故郷の歴史を知っていただき、より深い故郷愛のもとに、地域の教育・治安・まちづくりの活性化に貢献していただきたいと思う。

VIII 最後に、何かお気づきの点、疑問点などなんでもお聞かせください。

- ・センターでは施設管理者・職員が変わっていくので、作品・資料等の保存・管理は難しい。保管場所がないので、センター以外の資料は、期限が過ぎると処分してしまうのが現状。個人所蔵品の寄付の話も聞くが、これも同様だ。
- ・社会福祉協議会や自治会などの団体は広報誌を発行していない。そのため、地域住民の方へ知らせる手段として館報を活用しているが、スペースの関係でそれも限度がある。「まち協だより」などあればいいのにと時々思うことがある。
- ・集めた資料をどのように活用・保存するのかを明確にする。資料の公開・非公開の表示を所有元に確認したうえで活用する。以上の資料とその仕組みを誰に対して、どういう形で提言するのかを明確にする。

- ・地域に資料館など設置していると保存もしやすい。市民センターでは、展示スペースも限られていて難しいが、地域の方々は、次世代に語り伝えていくべき資料がいつも目に触れる所に展示されていると、昔語りをしながら、伝承する機会もできてくると思う。
- ・市民センターのクラブ数や市民センター利用者数が各センターごとに大きく違う。しかしながら、職員給与は一律の状態であり、その業務料の格差は大きい。資料等の整理保管業務までできる程度の職員勤務日数のゆとりがほしい。
- ・資料の保存法など、余り気にしていなかったのが、これを機にボランティアをつのり、これまでの10年間の資料の整理に着手してみたい。ただし、保管スペースが限られているのでこの先資料が増えていくことにどう対処するのか考える必要がある。
- ・地域のことはこの方へという方がいらっしゃるので、自分自身の学びとこれからのために共に学んでいきたい。
- ・当市民センターは、昭和36年開館の公民館が前身なので、資料が多くあるはずだが、平成2年の改築の際に失われた物もあると思われる。保存するには保管場所がない。
- ・校区は旧長崎街道に沿った東西長い地域だ。九州鉄道、長崎街道に関する資料はお見せできる。
- ・保存資料の分類が必要であり、全ての資料をすべて残すのは無理であろう。各地域の資料を区単位で、資料館を設立し保存するとよい。
- ・地域の資料は、市民センター単位で収集保存していく。そして、発信していく。今回のアンケート調査でそのことに気づかされた。センターの大切な役割として意識していこうと思う。
- ・保存しているが、いつでも有効に利用できるようには整理されていない。
- ・今回のアンケートの回答はここ最近2、3年に限ったのもので、古い時代の資料は処分してある物がほとんどだと思う。
- ・郷土愛が「まちづくり」の基本的精神であろうと、常日頃思っている。

(自由記述整理 山田)

「地域資料の調査研究」資料1

・公立公民館と市民センターの推移

センター名	設置年	改築年	前身	移管年度		
老松市民センター	1981.04.23	2005.12.08	老松公民館	1981.04.02		
清見市民センター	2002.04.26					
小森江西市民センター	1996.10.30					
小森江東市民センター	1985.04.01		風師公民館	1985.04.07		
白野江市民センター	2001.04.23					
大里東市民センター	1973.05.13	2007.03.20	大里東部公民館	1973.05.13		
大里南市民センター	2004.04.19					
大里柳市民センター	1959.10.01	1974.05.12	大里中部公民館	1959.10.01	←(改称) ~1969	大里公民館
田野浦市民センター	1988.11.08		早鞆公民館	1988.11.08		
東郷市民センター	1990.01.11		東郷公民館	1990.01.11		
錦町市民センター	2000.04.26					
西門司市民センター	1996.04.01		大里西部公民館	1996.04.01	←(改称) ~1969	西門司公民館
萩ヶ丘市民センター	2000.04.28					
藤松市民センター	2004.4.14					
松ヶ江北市民センター	1998.12.10					
松ヶ江南市民センター	1966.04.23	2007.04.02	松ヶ枝公民館	1966.04.23		
丸山市民センター	1999.04.27					
東郷市民センター (柄杓田市民サブセンター)	2009.01.16					
足原市民センター	2002.04.25					
足立市民センター	1999.04.21					
泉台市民センター	1980.04.20		篠崎公民館	1980.04.20		
到津市民センター	2000.04.24					
井堀市民センター	1997.04.27					
今町市民センター	1995.02.26					
北小倉市民センター	2002.04.17					
貴船市民センター	1978.03.03		白銀公民館	1978.03.03		
清水市民センター	1999.10.08					
霧丘市民センター	1977.12.03		霧丘公民館	1977.12.03		
小倉中央市民センター	1971.04.01		小倉東公民館	1971.04.01		
桜丘市民センター	1978.05.06		富野公民館	1978.05.06		
三郎丸市民センター	1963.06.01	1983.04.22	足立公民館	1963.06.01	1983.04.22	
寿山市民センター	1998.04.25					
富野市民センター	2005.04.19					
中井市民センター	1976.10.01		板櫃公民館	1976.10.01		
中島市民センター	2001.04.26					
西小倉市民センター	1996.07.25					
日明市民センター	1967.04.01	2006.04.14	日明公民館	1967.04.01	2006.04.14	2006.04.14
南丘市民センター	1985.11.27		南小倉公民館	1985.11.27		
南小倉市民センター	1999.04.18					
長行市民センター	2000.04.30					
企救丘市民センター	1978.12.02		志徳公民館	1978.12.02		

センター名	設置年	改築年	前 身	移管年度		
北方市民センター	2002.04.19		企救公民館	1954.07.04	1968.03.31	
朽網市民センター	1981.09.30		南曾根公民館	1981.09.30		
葛原市民センター	1999.04.25					
志井市民センター	2005.04.15					
城野市民センター	1960.05.01	1977.04.01	城野公民館	1960.05.01	1977.04.01	
曾根市民センター	1997.04.19					
曾根東市民センター	1952.07.20	2007.04.05	曾根公民館	1952.07.20	1973.08.21	
高蔵市民センター	2004.04.27					
田原市民センター	2002.10.16					
徳力市民センター	1988.11.18		広徳公民館	1988.11.18		
長尾市民センター	1998.04.19					
貫市民センター	1997.04.13					
沼市民センター	1977.09.01		沼公民館	1977.09.01		
東朽網市民センター	2000.02.20					
東谷市民センター	1954.08.07	1983.11.21	東谷公民館	1954.08.07	1983.11.21	
守恒市民センター	1993.10.21		守恒公民館	1993.10.21		
湯川市民センター	1980.10.16		湯川公民館	1980.10.16		
横代市民センター	1951.04.30	1977.09.02	横代公民館	1951.04.30	1977.09.02	
吉田市民センター	1986.10.03		吉田公民館	1986.10.03		
両谷市民センター	1952.05.10	1975.05.10	両谷公民館	1952.05.10	1975.05.10	
若園市民センター	1999.11.03					
広徳市民センター	2008.11.30					
青葉市民センター	1999.04.24					
赤崎市民センター	1996.04.21					
島郷市民センター	1947.12.13	2009.07.21	島郷公民館	1947.12.13	1970.04.20	2009.07.21
修多羅市民センター	2000.04.27					
高須市民センター	1991.04.25		高須公民館	1991.04.25		
深町市民センター	1995.03.18					
藤ノ木市民センター	1997.04.13					
二島市民センター	1998.04.26					
古前市民センター	2003.04.22					
若松中央市民センター	1997.04.01					
祝町市民センター	1954.08.28	1974.11.01				
枝光市民センター	1955.03.27	1976.12.01	枝光公民館	1955.03.27	1976.12.01	
枝光北市民センター	1964.02.25	1994.04.22	枝光北公民館	1964.02.25	1994.04.22	
枝光南市民センター	1998.04.11					
大蔵市民センター	2002.04.15		大蔵公民館	1954.07.02	1973.02.11	2002.04.15
尾倉市民センター	1958.12.16	1977.12.03	尾倉公民館	1958.12.16	1977.12.03	
尾倉市民センター (天神市民サブセンター)	2009.01.14					
高槻市民センター	2001.04.25					
高見市民センター	1957.07.30	2004.12.21	高見公民館	1957.07.30	1974.11.01	
槻田市民センター	1995.03.19		槻田公民館	1954.08.28	1974.11.01	
平野市民センター	1958.08.01	1976.09.03	前田公民館	1958.08.01	1976.09.03	
前田市民センター	1999.04.28					
八幡大谷市民センター	1960.09.10	1973.10.01	八幡大谷公民館	1960.09.10	1973.10.01	

センター名	設置年	改築年	前 身	移管年度		
青山市民センター	2000.04.25					
赤坂市民センター	2000.04.29					
浅川市民センター	2000.04.27					
穴生市民センター	1962.07.07	1993.09.11	穴生公民館	1964.07.07		
池田市民センター	1996.04.12					
医生丘市民センター	1996.04.17					
永犬丸市民センター	1998.04.25					
永犬丸西市民センター	2002.04.18					
大原市民センター	1999.04.17					
折尾西市民センター	2001.04.17					
折尾東市民センター	1958.10.11	1982.04.16	折尾公民館	1958.10.11	1982.04.16	
香月市民センター	1961.06.04	1990.06.25	香月公民館	1961.06.04	1990.06.25	
楠橋市民センター	1997.05.08	2002.04.12				
熊西市民センター	2001.04.27					
黒畑市民センター	1997.04.18					
黒崎市民センター	1956.04.04	1975.09.01	黒崎公民館	1956.04.04	1975.09.01	
上津役市民センター	1959.05.23	1984.06.28	上津役公民館	1959.05.23	1984.06.28	
木屋瀬市民センター	1960.07.01	1982.11.26	木屋瀬公民館	1960.07.01	1982.11.26	
陣原市民センター	2002.04.23					
陣山市民センター	1960.11.25	1986.04.12	陣山公民館	1960.11.25	1986.04.12	
竹末市民センター	2000.04.14					
千代市民センター	1996.04.20		千代公民館	1994.04.20		
筒井市民センター	1953.10.28	1973.04.05	熊西公民館	1953.10.28	1973.04.05	
塔野市民センター	1999.04.25					
中尾市民センター	1971.04.05		沖田公民館	1971.04.05		
鳴水市民センター	2001.04.24					
則松市民センター	1980.04.01		則松公民館	1980.04.01		
引野市民センター	1997.04.11		引野公民館	1967.07.28	廃館 ⇒	1997.04.11
星ヶ丘市民センター	2001.04.19					
本城市民センター	1996.04.26		本城公民館	1958.06.08	廃館 ⇒	1996.04.26
光貞市民センター	1992.07.10		浅川公民館	1992.07.10		
八児市民センター	1960.04.24		八児公民館	1980.04.24		
八枝市民センター	1978.10.01		永犬丸公民館	1978.10.01		
浅生市民センター	1960.03.10	1974.11.11	浅生公民館	1960.03.10	1974.11.11	
一枝市民センター	1959.04.05	1981.04.10	一枝公民館	1959.04.05	1981.04.10	
大谷市民センター	1998.04.30		戸畑大谷公民館	1956.06.06	1998.04.30	
鞆ヶ谷市民センター	1958.10.01	1980.10.24	鞆ヶ谷公民館	1958.10.01	1980.10.24	
沢見市民センター	1960.05.13	2008.04.25	沢見公民館	1960.05.13	2008.04.25	
三六市民センター	1953.02.04	1972.12.06	三六公民館	1953.02.04	1972.12.06	
天籟寺市民センター	1959.06.06	1991.04.18	天籟寺公民館	1959.06.06	1991.04.18	
中原市民センター	1958.06.13	1981.04.16	中原公民館	1958.06.13	1981.04.16	
西戸畑市民センター	1954.11.29	1975.08.01	西戸畑公民館	1954.11.29	1975.08.01	
東戸畑市民センター	1958.08.25	1977.04.21	東戸畑公民館	1958.08.25	1977.04.21	
牧山市民センター	1956.11.17	1983.04.20	牧山公民館	1956.11.17	1983.04.20	
牧山東市民センター	1963.04.05	1992.08.05	牧山東公民館	1965.04.05	1992.08.05	

・公立公民館の総数

門司 : 8、小倉北 : 9、小倉南 : 13、若松 : 2、八幡東 : 8、八幡西 : 16、戸畑 : 12

【参照資料】

1970	昭和45年度—北九州市—社会教育展望	教育委員会社会教育部	
1970	北九州市の社会教育1970	北九州市教育委員会社会教育部	
1971	教育北九州 1～36	北九州市教育委員会／編	昭和43年1月号～昭和45年12月号
1972	昭47九社(4) 北九州市の社会教育1972	北九州市教育委員会社会教育部	昭和46年度の社会教育事業報告ほか
1972	昭47九社(1) 昭和47年度—北九州市—社会教育展望	教育委員会社会教育部	昭和47年度の社会教育の施策、事業概要ほか
1974	同和問題を考えよう 総集編 教育北九州	北九州市教育委員会／編	昭和48年度版
1975	同和問題を考えよう 総集編 No.2 教育北九州	北九州市教育委員会／編	昭和49年度版
1980	昭和55年度北九州市の社会教育	北九州市教育委員会社会教育部	
1993	教育北九州 230～265	北九州市教育委員会／編	平成2年5月～平成5年4月
1995	教育北九州 266～289	北九州市教育委員会／編	平成5年5月～平成7年4月
2009	教育要覧 09		

地域資料に関するアンケート単純集計結果

基本事項

所在区	度数	構成比
(1) 門司区	17	13.2
(2) 小倉北区	21	16.3
(3) 小倉南区	24	18.6
(4) 若松区	10	7.8
(5) 八幡東区	12	9.3
(6) 八幡西区	33	25.6
(7) 戸畑区	12	9.3
合 計	129	100.0

設置年	度数	構成比
枝光公民館として昭和30年開館	1	0.8
昭和33年	1	0.8
東戸畑公民館 昭和33	1	0.8
昭和35年	1	0.8
昭和39年枝光北公民館	1	0.8
大里西部公民館として昭和44年	1	0.8
昭和46年開館 平成12年市民福祉センター	1	0.8
北九州市立沼公民館として昭和52年	1	0.8
横代公民館として昭和52年9月2日設置 平成11年「市民福祉センター」	1	0.8
昭和53年公民館設置	1	0.8
永犬丸公民館としては昭和53年10月に開館	1	0.8
昭和53年12月2日開館	1	0.8
昭和55年	2	1.6
篠崎公民館として昭和55年に設置	1	0.8
南曾根公民館として昭和56年設置	1	0.8
昭和60年	1	0.8
市民福祉センターとして 平成13年	1	0.8
市民福祉センターとして平成10年開館	1	0.8
市民福祉センターとして平成12年7月	1	0.8
不 明	109	84.5
合 計	129	100.0

IV. 貴館でお持ちの「地域資料」を教えてください。(複数回答)

1. 市民センター（市民福祉センター・公民館）が発行・作成したもの	度数	構成比	回答総数
(1) 館報	129	100.0	
(2) 周年記念誌	75	58.1	
(3) 報告書（種類は問いません）	79	61.2	
(4) 文化祭冊子	96	74.4	
(5) 行事案内のチラシ	99	76.7	
(6) 学習・文化活動の記録	76	58.9	
(7) 年間事業の記録	73	56.6	
(8) その他	5	3.9	
合 計	129		632

2. 地域団体が発行・作成したお知らせ、報告書、活動の記録など	度数	構成比	回答総数
(1) まちづくり協議会によるもの	91	70.5	
(2) 社会福祉協議会によるもの	70	54.3	
(3) 自治会によるもの	39	30.2	
(4) 町内会によるもの	11	8.5	
(5) 婦人会によるもの	8	6.2	
(6) 子ども会によるもの	11	8.5	
(7) 老人クラブによるもの	17	13.2	
(8) その他	13	10.1	
無回答	20	15.5	
合 計	129		

3. 各種関係団体・個人が発行・作成したお知らせ、報告書、活動の記録など	度数	構成比	回答総数
(1) クラブ、クラブ協議会によるもの	40	31.0	
(2) PTAによるもの	32	24.8	
(3) 家庭教育学級によるもの	86	66.7	
(4) 郷土史会によるもの	23	17.8	
(5) 文化団体によるもの	10	7.8	
(6) 環境保護団体によるもの	10	7.8	
(7) 子育て支援関連団体によるもの	27	20.9	
(8) NPOやボランティア団体によるもの	10	7.8	
(9) その他	4	3.1	
無回答	36	27.9	
合 計	129		

4. 関係機関で発行・作成したもの	度数	構成比	回答総数
(1) 幼・小・中学校によるもの	60	46.5	
(2) 高等学校によるもの	6	4.7	
(3) 大学その他各種学校によるもの	7	5.4	
(4) 保育所（園）によるもの	21	16.3	
(5) 児童館・学童保育によるもの	15	11.6	
(6) 地域交流センターによるもの	16	12.4	
(7) 公民館類似施設によるもの	12	9.3	
(8) 社会福祉施設によるもの	14	10.9	
(9) その他	1	0.8	
無回答	60	46.5	
合 計	129		212

5. その他関係団体が発行・作成したもの	度数	構成比	回答総数
(1) 寺・神社によるもの	3	2.3	
(2) 企業・商店・工場によるもの	2	1.6	
(3) 市場によるもの			
(4) 病院によるもの	17	13.2	
(5) 交番によるもの	38	29.5	
(6) 駅によるもの	4	3.1	
(7) 農業・漁業・森林組合によるもの	6	4.7	
(8) 文化・観光施設によるもの	18	14.0	
(9) その他	2	1.6	
無回答	78	60.5	
合 計	129		168

6. 古文書、古地図など、いわゆる歴史的な資料	度数	構成比	回答総数	
(1) 古文書・手書き文書	5	3.9		
(2) 古地図・絵図	6	4.7		
(3) 版画				
(4) 古い新聞や雑誌（切り抜きを含む）	9	7.0		
(5) 書籍	24	18.6		
(6) 書画・絵画	7	5.4		
(7) その他	6	4.7		
無回答	87	67.4		
合 計	129			144

7. 音響・映像・画像	度数	構成比	回答総数
(1) 写真	89	69.0	
(2) ビデオテープ	39	30.2	
(3) 8ミリフィルム	2	1.6	
(4) カセットテープ	3	2.3	
(5) CD・DVD	42	32.6	
(6) 書画・絵画	1	0.8	
(7) その他	2	1.6	
無回答	29	22.5	207
合計	129		

8. 記念碑や作品など	度数	構成比	回答総数
(1) 模型	6	4.7	
(2) 標本	1	0.8	
(3) 立体地図	3	2.3	
(4) パネル	15	11.6	
(5) 手工芸品	22	17.1	
(6) 彫刻	3	2.3	
(7) 石碑	11	8.5	
(8) その他	7	5.4	
無回答	79	61.2	147
合計	129		

V. 貴館で保存の資料等はどのようにご利用になっていますか。その利用方法等をお知らせください。回答は複数でかまいません。	度数	構成比	回答総数
(1) 市民センターの行事に利用している	68	52.7	
(2) 市民センターの掲示物に利用している	73	56.6	
(3) 小・中学生の調べ学習に提供している	20	15.5	
(4) クラブの学習・調査に提供している	9	7.0	
(5) 個人の学習・調査に提供している	19	14.7	
(6) 役所などからの問い合わせの際に利用している	51	39.5	
(7) 図書館・博物館などからの問い合わせの際に利用している			
(8) 地域やまちづくり協議会の周年行事、沿革史・報告書の作成などに活用している	70	54.3	
(9) 学校などの周年行事、沿革史・報告書の作成などに活用している	14	10.9	
(10) その他、自由にお書きください	6	4.7	
無回答	13	10.1	343
合計	129		

VI. 資料の所在先の紹介	度数	構成比
(1) 知っており、紹介できる	44	34.1
(2) 知っているが、紹介は難しい	11	8.5
(3) 知らない	62	48.1
無回答	12	9.3
合 計	129	100.0

調査票

平成21年10月28日

各市民センター・館長様

「地域資料」に関するアンケート調査について ご協力をお願い

この度、北九州市立大学都市政策研究所地域づくり研究会と北九州社会教育・生涯学習研究会は共同事業として、小学校区などの地域における諸資料の現状について2ヶ年計画で調査研究を実施したいと考えております。この調査研究は地域における活動や学習のための資料収集と保存及び、活用のための望ましい方策を検討し、仕組みを提言することを目的にいたしております。

つきましては、地域コミュニティの活動拠点である市民センターを中心に、「地域資料」に関するアンケートを実施いたしたく、ご協力をお願い申し上げます。

(ここでいう「地域資料」とは、地域における市民の生活や活動にかかわる記録などの諸資料を含むものです。)

業務ご多忙中まことに恐縮ではございますが、別紙の質問項目についてご記入の上、同封の返信用封筒で北九州市立大学都市政策研究所宛て11月10日までに、ご返信くださいますよう、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケート結果に基づきまして、後日、貴館のご都合をお伺いした上で、訪問し、聞き取りや当該資料の見聞等をさせていただきたいと思っておりますので、その節はご教示のほど、よろしくお願いいたします。

北九州市立大学都市政策研究所地域づくり研究会

代表 石塚 優

北九州社会教育・生涯学習研究会

代表 恒吉 紀寿

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

北九州市立大学都市政策研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4丁目2-1

担当：山田留里（北九州社会教育・生涯学習研究会）

TEL. Fax. (093) 452-4598

【返信用回答用紙 1】

◆下記の項目についてお答えください。

I. 貴館の所在する区を教えてください。

- (1) 門司区 (2) 小倉北区 (3) 小倉南区
(4) 若松区 (5) 八幡東区 (6) 八幡西区 (7) 戸畑区

II. 貴館のセンター名を教えてください。

() 市民センター)

III. 貴館の設置年を教えてください。

市民（福祉）センターとしての設置年（平成) 年)

以下のIV 1～8 及びVについて、該当するすべての番号に、○を付けてください。

IV. 貴館でお持ちの「地域資料」を教えてください。

1. 市民センター（市民福祉センター・公民館）が発行・作成したもの

- (1) 館報 (6) 学習・文化活動の記録
(2) 周年記念誌 (7) 年間事業の記録
(3) 報告書（種類は問いません） (8) その他（)
(4) 文化祭冊子
(5) 行事案内のチラシ

2. 地域団体が発行・作成したお知らせ、報告書、活動の記録など

- (1) まちづくり協議会によるもの (6) 子ども会によるもの
(2) 社会福祉協議会によるもの (7) 老人クラブによるもの
(3) 自治会によるもの (8) その他（)
(4) 町内会によるもの
(5) 婦人会によるもの

3. 各種関係団体・個人が発行・作成したお知らせ、報告書、活動の記録など

- (1) クラブ、クラブ協議会によるもの (6) 環境保護団体によるもの
(2) PTAによるもの (7) 子育て支援関連団体によるもの
(3) 家庭教育学級によるもの (8) NPOやボランティア団体によるもの
(4) 郷土史会によるもの (9) その他（)
(5) 文化団体によるもの

【返信用回答用紙 2】

4. 関係機関で発行・作成したもの

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 幼・小・中学校によるもの | (6) 地域交流センターによるもの |
| (2) 高等学校によるもの | (7) 公民館類似施設によるもの |
| (3) 大学その他各種学校によるもの | (8) 社会福祉施設によるもの |
| (4) 保育所（園）によるもの | (9) その他（ ） |
| (5) 児童館・学童保育によるもの | |

5. その他関係団体が発行・作成したもの

- | | |
|-------------------|---------------------|
| (1) 寺・神社によるもの | (6) 駅によるもの |
| (2) 企業・商店・工場によるもの | (7) 農業・漁業・森林組合によるもの |
| (3) 市場によるもの | (8) 文化・観光施設によるもの |
| (4) 病院によるもの | (9) その他（ ） |
| (5) 交番によるもの | |

6. 古文書、古地図など、いわゆる歴史的な資料

- | | |
|----------------------|------------|
| (1) 古文書・手書き文書 | (5) 書籍 |
| (2) 古地図・絵図 | (6) 書画・絵画 |
| (3) 版画 | (7) その他（ ） |
| (4) 古い新聞や雑誌（切り抜きを含む） | |

7. 音響・映像・画像

市民センターの行事、地域活動や地域の伝統行事などの記録、民謡や神楽・謡など歌唱・舞楽曲・舞踏、古老の語り、著名人の講演などを音や映像で記録したものなど

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 写真 | (5) CD・DVD |
| (2) ビデオテープ | (6) 書画・絵画 |
| (3) 8ミリフィルム | (7) その他（ ） |
| (4) カセットテープ | |

8. 記念碑や作品など

- | | |
|----------|------------|
| (1) 模型 | (5) 手工芸品 |
| (2) 標本 | (6) 彫刻 |
| (3) 立体地図 | (7) 石碑 |
| (4) パネル | (8) その他（ ） |

【返信用回答用紙 3】

9. その他、何かありましたらご記入ください。

(特に保存方法や形は問いません。皆さまの判断で、これと思われるものすべてが対象です。)

V. 貴館で保存の資料等はどのようにご利用になっていますか。

その利用方法等をお知らせください。回答は複数でかまいません。

- (1) 市民センターの行事に利用している
- (2) 市民センターの掲示物に利用している
- (3) 小・中学生の調べ学習に提供している
- (4) クラブの学習・調査に提供している
- (5) 個人の学習・調査に提供している
- (6) 役所などからの問い合わせの際に利用している
- (7) 図書館・博物館などからの問い合わせの際に利用している
- (8) 地域やまちづくり協議会の周年行事、沿革史・報告書の作成などに活用している
- (9) 学校などの周年行事、沿革史・報告書の作成などに活用している
- (10) その他、自由にお書きください

VI. 貴館の地域で、いわゆる歴史的資料のほか、地域に関連する資料等をお持ちの施設・団体・個人をご存じですか。

- (1) 知っており、紹介できる
- (2) 知っているが、紹介は難しい
- (3) 知らない

【返信用回答用紙 4】

VII. このような地域の資料を、今後どのように活用・保存すればよいと思いますか。
ご意見をお聞かせください。

VIII. 最後に、何かお気づきの点、疑問点などなんでもお聞かせください。

ご協力、ありがとうございました。

アンケート結果に基づき、話をお聞きしに訪問する節は、どうぞ、よろしくお願いたします。

なお、データ保存のためにアンケート調査票の書式が必要な方は、

担当までご連絡ください。

メール添付でお送りいたします。